

沖縄県

# 産業振興基金事業補助金

OKINAWA

PROJECT  
CASE  
BOOK



沖縄の産業振興に繋がる  
事業計画を支援します!!



## 補助対象事業の種類



1

## 戦略的産業育成支援事業



沖縄県の施策と連動し、付加価値の高いビジネスモデルの創出等を推進する戦略的産業（情報通信産業、観光リゾート産業、国際物流機能を活用した新たなビジネスを展開する臨空臨港型産業等）及びDX、GXの推進や社会課題解決を目的としたソーシャルビジネスの育成・支援事業

●補助率3/4以内 ※県出資公益法人等は10/10以内



2

## エネルギー基盤安定整備事業



沖縄県におけるクリーンエネルギーの利活用、エネルギー供給の不利性低減等のエネルギー基盤安定化に資する事業

●補助率2/3以内（上限3千万円）



3

## 地域産業技術活性化・高度化支援事業



## (1) 地域産業連携支援事業

産業分類の異なる複数の事業者団体等で構成する連携体が行う、地域産業の活性化・高度化に寄与すると認められる研究開発事業又は経済循環に資する事業

●補助率3/4以内

## (2) 地域産業支援事業



地域産業の活性化又は高度化に大きく寄与すると認められる新技術又は新製品の实用化に向けた研究開発及び研究成果を活用した新規ビジネスの創出事業、地域産業の育成に寄与すると認められる事業等

●補助率2/3以内 ※県出資公益法人等は10/10以内



4

## 技術基盤整備事業



技術の集積・他産業との連携による高度化・高付加価値化、生産プロセスの見直しによる競争力強化等を推進するものづくり・生産技術の基盤整備事業

●補助率1/2以内（上限1千万円）



5

## 人材育成事業



各産業のリスキリングや専門人材の育成等を支援する取組や、兼業・副業等の多様な人材の活用を促進する取組等の人材育成・確保支援事業

●補助率3/4以内 ※県出資公益法人等は10/10以内



6

## 北部地域産業振興事業



北部地域(名護市、国頭郡並びに島尻郡伊平屋村及び伊是名村をいう。)における地場産業、情報関連産業、地域イベント等の戦略的産業及び情報関連、技術・研究開発関連、観光リゾート関連、農林水産業関連分野等の人材育成並びに支援及び活用事業

●補助率3/4以内



**沖縄県産業振興基金事業とは**  
 企業・団体等が自ら策定した県産業の技術革新、高度情報化等につながる事業計画について、その事業計画の実施に要する経費に対して補助し、県産業の振興を図ることを目的としています。

## 補助対象者

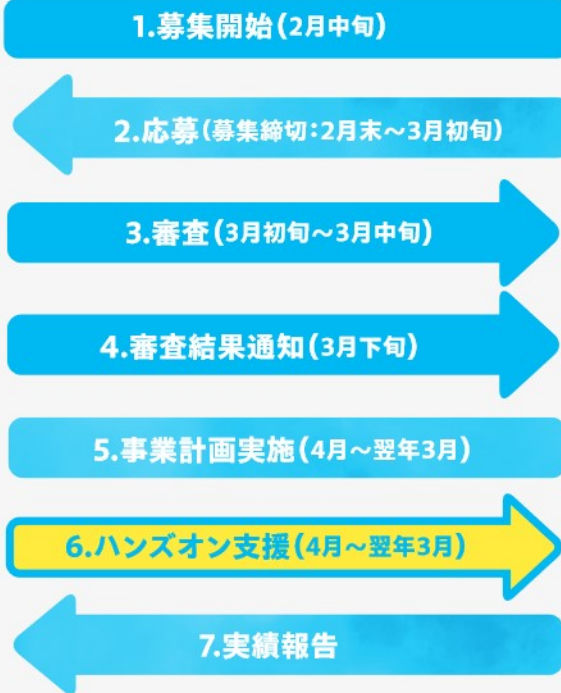
沖縄県の産業振興に資する取組を行う企業・団体等

**POINT** ●個別企業のみで実施する製品開発・販路拡大支援は本事業の補助対象とはなりません  
 ●国、県等が実施する他の補助金の対象となる事業は本事業の補助対象とはなりません  
 ●建物改修や設備導入等を目的とした事業ではありません



## 事業・支援の流れ ※例年の予定です。

公益財団法人  
沖縄県産業振興公社



企業・団体等

## 活用のポイント



- 事業実施期間は1年間(4月~翌年3月)です。
- 複数年度にわたる事業計画の申請も可能です。  
※審査は年度ごとに実施
- 沖縄県の「新たな振興計画」に即した産業振興に繋がる提案であれば、幅広い事業での活用が可能です。
- 事業の実施にあたっては、コーディネーターによるハンズオン支援\*を受けることができます。

\*ハンズオン支援  
事業の効率・効果的な推進のため、必要な知識・ノウハウの提供、助言等のサポート

## 事業に関するQ&A

### Q2

どんな経費が対象になりますか？



**A** 以下は、対象経費の例です。

- 補助事業に直接従事する方の人件費
- 専門家招聘に係る謝金及び旅費
- 職員旅費
- 調査、研究開発、公設試験研究機関の試験等の外部委託費
- テストマーケティングに係る展示会や催事の出展料等

※補助対象外となる経費もございますので、詳しくは県HPの「募集要項」をご確認ください。



# Q&A

### Q1

どんな事業が対象になりますか？



**A** 沖縄の産業振興につながる事業計画が対象です。

※過去の採択事業については、裏表紙をご参考ください。



### Q3

補助上限額はどのくらいですか？



**A** 補助金予算は年度により異なります。

補助金予算の範囲内で、採択事業を決定します。目安としては、1件あたり1千万円程度です。







## 1 戦略的産業育成支援事業

● プロジェクト名

# e-sports産業の確立事業

採択年度：平成31年度～令和2年度



台湾と沖縄の参加者がオンラインで対戦した「琉熱台湾大会」（台湾会場）



沖縄ロワジールホテルで開催した国際大会には県外からも多数参加

### 1 当事業での取り組み内容を教えてください。

「eスポーツ(e-sports)」とは、エレクトロニクス・スポーツの略で、コンピュータゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉えたものです。全世界で市場が発展しているeスポーツについて、当社では台湾・中国などのメイン市場や次の成長市場として期待される東南アジアへのアクセスに地理的優位性がある沖縄の特徴を活かし、沖縄県内でのeスポーツ

産業の確立、並びにその周辺産業の人材育成・発掘・活性化について取り組みました。

具体的には、①沖縄発eスポーツの国際大会開催とその認知・人材育成を図る場としての沖縄台湾リーグの開催、②eスポーツ選手育成や福祉分野での活用を目的とした選手や観客の心拍数等の各種データ測定手法に関する研究、③県のプログラミング教育のレベルアップを図るため、ゲームを題材としたプログラミング教材の作成等を行いました。

### 2 現在の状況と課題を教えてください。

国際大会としては台湾大会を開催しましたが、肝心の沖縄大会をコロナ禍により開催できませんでした。やむなくオンライン大会に切り替えて沖縄台湾対抗戦を実施したところ、日本台湾合計で同時接続数2,500を記録しました。2022年6月以降、オンラインでのイベントが開催されるようになり、大手通信事業者がスポンサーとなり大会を開催してきましたが、コロナ前よりはスポンサーが減っており、スポンサー収益に依存するモデルからの脱却が必要です。

開等でスポンサー収益以外のマネタイズ手段を確保する必要があります。

また、沖縄市場だけでは限界があり、当初の目的通り台湾との連携や県外大手企業の誘致を進めていくことも必要です。eスポーツ大会はオンラインでも実施可能ですが、やはりオンライン大会の方が沖縄観光との相性もよく、スポンサーも集まりやすいのでアフターコロナを見据えて大きなオンライン大会を計画しています。2023年3月には県内商業施設で開催します。

### 3 事業を活用した感想を教えてください。

黎明期の産業について、種まきから啓蒙・認知活動まで幅広く支援していただきました。直接のビジネスにはなかなか繋がらない福祉系コラボイベント（引きこもりの子ども支援として、eスポーツを利用して外への一歩を踏み出してもらい、専門家のケアへつなげていく）も実施できました。このことで、県内でも福祉団体によるイベントが開催されるようになり、事業でコラボした企業が高齢者向けeスポーツを推進するなど、当社以外にも大きな拡がりを得ました。今後も沖縄の地場産業活性化につなげられるよう、持続と循環をテーマに活動していきます。

### 3 今後の展望を教えてください。

福岡で成功事例があるように、グッズ展

## DATA

### 株式会社 ザ・ウェーブ

他2社/琉球朝日放送株式会社  
/株式会社座波商会



代表者：住吉 基伸  
業種：eスポーツ大会の主催・運営  
設立：2016年7月  
資本金：300万円  
住所：浦添市宇城間3019番地  
座波建設ビル内  
TEL：098-879-0073

一丁戦略室 室長  
沢川 浩史







7

北部地域産業振興事業

プロジェクト名

## 泡盛蒸留粕を用いた用途分野に応じた固化体製品の開発

採択年度・平成30年度～令和3年度



環境機能付加型製品「アミノ魚礁ブロック」X型（手前）は藻場造成にも使用される



国頭漁協関係者らによる試験魚礁（円筒型魚礁）設置の様子

### ① 当事業での取り組み内容を教えてください。

「命を育み、生物環境の保全に貢献する製品を開発する」というコンセプトをもとに、2018年から泡盛蒸留粕を活用した新たな固化体製品「アミノ魚礁ブロック」の開発に着手しました。①セメントを使用しない、②地域資源である泡盛の蒸留粕を原料に使用する、という大胆な発想のもと、固化技術を確立するため、使用原料の配合の検討や強度試験の実施、魚礁の形状などを検討しました。実際に試作品を製作、海底に設置し、泡盛蒸留粕を配合した

アミノ魚礁とコンクリート魚礁の比較試験を行い、アミノ魚礁の海藻類付着などの有効性を検証しました。本事業では、酒粕の魚礁開発での知見や先行技術をもつ鹿児島大学水産学部や鹿児島県立コンクリート株式会社、微生物の解析技術を持つ株式会社バイオジェットと研究共同体を形成し、製品開発を進めました。

### ② 現在の状況と課題を教えてください。

製品開発を進める一方、先行して特殊固化技術を活用したサンゴ増養殖用の基盤材を製造し、県内外の漁業協同組合、県内民間企業、NPO法人に販売を行っています。また、アミノ魚礁ブロックも2022年より県内から受注を受け、製造販売しています。アミノ魚礁ブロックにおいては、2021年、県内沿岸域に漂着した軽石を魚礁材料に活用した軽石活用アミノ魚礁ブロックを開発し、本部町に納品。2022年10月に崎本部沖海底に設置しました。これも特殊固化技術によるもので、県内に大量に保管されている軽石の活用を活かせるかと考えています。

現在の課題は、漁業関係者からのニーズを拾い、製品アイテムをより充実させること。また、アミノ含有量をさらに増やしたアミノ魚礁ブロックを開発し、効果の向上を図っていくことです。

### ③ 今後の展望を教えてください。

既に本島中北部のいくつかの漁協や行政機関に製品を導入して頂いていますが、さらに県内全域への展開を図る予定です。製品アイテムも、引き続き漁業者のニーズや意見を取り入れ、開発を進めていきます。実際に小型サイズのブロックは漁業従事者が自分たちの船で運べるように開発したものです。また、サンゴ基盤材は導入先からの評価が高いことから、県内全域に広めていきたいと考えています。

### ④ 事業を活用した感想を教えてください。

魚礁の製品開発というテーマではなかなか支援事業のメニューに合致しない中、支援に感謝しています。本事業は、製品開発やサービス等、広範囲のテーマを申請できる点や製品開発に係る補助額、補助率、事業期間などが非常に使いやすいと思います。事業開始当初はハンズオン支援なしでスタートしましたが、事業途中からハンズオン支援を受け、私たちが気づかない点などもアドバイスを受けることができ大変助かりましたし、気軽に相談できる点も良かったと思います。

今後も当事業での成果を活かし、さまざまな製品開発を予定しています。

## DATA

## 株式会社 沖坤



代表者：宮城 勝  
業種：コンクリート二次製品などの製造業  
設立：1973年2月  
資本金：3,000万円  
住所：沖縄県名護市宇久志521番地6  
TEL：0980-55-2231



代表取締役社長：宮城 勝

事業開発部長：安里 積秀





7

北部地域産業振興事業

●プロジェクト名

伊江島とその特産品の  
ブランド力向上事業

採択年度：平成28年度～令和4年度



ブランド力向上のため、既存の特産品パッケージやラベルデザインをリニューアル

左：カリビアンスピリッツカクテルパーティー イン那覇  
右：2022年開催のオキナワマルクトに出展1 当事業での取り組み内容を  
教えてください。

沖縄県には年間1千万人近くの観光客が訪れ、増加傾向にあります。離島への関心も高まっており、伊江島および伊江島特産品のブランド力を高めることで、訪問者の増加や特産品の販売の増加も見込まれます。

しかし、離島ゆえに県内外や海外への情報発信を行うにも多大な費用と労力が必要

となります。そこで基金を用いて、地域と特産品のブランド力を向上させる取り組みをしています。

まず、既存の特産品のパッケージやストーリーを構築し直し、商品力を高めました。そして県内、国内、海外へむけて、物産展や展示会等へ参加し、インターネットを活用した情報発信を行いました。

## 2 現在の状況と課題を教えてください。

観光客が少しずつ戻り、売店での売上も回復傾向にあります。酒類の販売も好調です。特に限定品のラム酒を中心に売り上げが伸びています。新しくしたラム酒のパッケージデザインやブランドストーリーが好評で、各種メディアでも取り上げられています。また、フードフレアなどのイベントに積極的に参加し、島の特産品のこだわりや魅力を知ってもらうと共にSNSでも発信し、地域と特産品等の情報を県内外へ周知しています。そうすることで、特産品のECサイトでの販売促進と新規販売先の獲得を目指しています。

ただ、観光客の土産購入のスタイルが大量買いから個別買いへ変化しており、物産センターの売上は依然厳しいままです。従業員も足りておらず、商品の製造も追いつきません。人材不足が大きな課題になっています。

## 3 今後の展望を教えてください。

この事業を通して高めた伊江島と特産品のブランド力、つまり特徴やこだわり、個性や価値は、今後も向上させていくための努力と、情報発信を行い続ける必要があります。商品の販売等によって得た収益は、新商品の開発や情報発信に使い、そしてそれらを行うための人材育成に投資するという循環によって、離島地域の活性化、産業の活性化に寄与していきたいです。

## 4 事業を活用した感想を教えてください。

離島のため、イベント等に参加するためには旅費がかかります。実店舗も、魅力ある店舗にして話題づくりをしなくてはなりません。さらに、ECサイトの強化やSNSの運用改善には専門的な知識や経験が必須です。しかし離島は人材に限られるために外部に委託せざるを得ません。多額の経費が必要となります。また、地域観光・特産品販売を活性化させるには、島への販路開拓が欠かせません。伊江島と特産品のブランド力を向上させ、離島地域や産業を活性化させるためには、財政基盤が脆弱な離島企業の独自予算だけでは困難でした。支援を受けることで、外部のデザイナーやプランナーに相談できたほか、イベント出展やSNS発信のノウハウも身につきました。

## DATA

株式会社  
伊江島物産センター

代表者：宮里 徳成  
業種：小売り、食品製造、  
酒類製造  
設立：2013年11月  
資本金：2,100万円  
住所：沖縄県国頭郡伊江村  
宇川平519番地の3  
TEL：0980-49-5555



常務取締役・浅香 真



## 令和6年度採択事業者一覧

### 1. 事業者名：株式会社ソルトラボ石垣島（石垣市）



- 事業区分：戦略的産業育成支援事業
- 計画事業名：離島における廃棄漁網・観光ゴミ・一般ゴミ等の有効活用模索とアップサイクル実証実験事業
- 事業内容：石垣島を含む八重山地域の離島では、再生可能なゴミ処理に課題がある。廃棄漁網等の再生可能プラスチックゴミの回収、選別、洗浄、破碎、ペレット化の実証実験、再生資源としてアップサイクルに取り組み、離島における資源循環を目指す。



### 2. 事業者名：産業振興基金北部テーマパーク開発事業企業連携体（那覇市） （株式会社リウボウ商事／株式会社ジャパンエンターテイメント）



- 事業区分：地域産業連携支援事業
- 計画事業名：沖縄県産品や沖縄県の原材料に特化した商品開発プロジェクト
- 事業内容：2025年、北部テーマパーク開業に向け、沖縄県製造品や県産材料を活用した商品開発を促進する。沖縄の魅力を活かしたお土産品開発や飲食メニューの提供に向け、県内製造事業者、生産者の品質管理向上や製造力向上に取り組む。



### 3. 事業者名：株式会社石川酒造場（西原町）



- 事業区分：地域産業支援事業
- 計画事業名：泡盛製造からの廃棄ゼロへ！資源循環型機能性素材の開発
- 事業内容：泡盛業界の課題である、未利用泡盛蒸留粕の利活用に向け、酵素処理や再発酵させた機能性素材を開発し、泡盛製造から発生する食品残渣の廃棄ゼロを目指す。令和6年度は、機能性の研究および製造方法を確立し、商品化の検討を推進する。



### 4. 事業者名：ゆいまーる沖縄株式会社（南風原町）



- 事業区分：地域産業支援事業
- 計画事業名：沖縄の工芸品、食、伝統芸能を組み合わせた文化産業構築事業
- 事業内容：工芸品、食、伝統工芸は各分野で保存・継承・創造と更なる発展と振興を目指している。これらの各分野を連携させ、コンテンツ開発や文化の裾野を広げる活動を通し、相乗効果を生む文化産業を構築する。



### 5. 事業者名：株式会社わんさか（名護市）



- 事業区分：北部地域産業振興事業
- 計画事業名：リニューアル施設を活かしたファンコミュニティ育成事業
- 事業内容：名護市東海岸二見以北地域10区の地域づくり拠点として2011年にオープンし、2024年リニューアル。地域内外とのつながりの強化に向け、ファンコミュニティを形成し、地域拠点の機能強化と地域活性化に取り組む。



### 6. 事業者名：株式会社沖坤（名護市）



- 事業区分：北部地域産業振興事業
- 計画事業名：独自技術を活かした「OKINAWAN SDGs」製品の開発と販路開拓
- 事業内容：沖縄ならではの地場産材から発生する端材等のリサイクルや、産業廃棄物の再生資源化に取り組んでいる。独自技術を活かし、これらの地域資源および再生資源の配合や機能性の検証を行い、新たな県産品として県内外に普及させ、循環資材として活用を目指す。





# 採 択 事 業

## 平成 31 年度 (令和元年度)

- **戦略的産業育成支援事業**
  - 株式会社あしびかんばにー  
沖縄観光コンテンツ開発環境整備事業  
～沖縄型新ライブ・エンタテインメント・コンテンツ創出～
  - 一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター  
簡易版スタートアップスタジオのビジネスモデル構築・実証事業
  - 株式会社ザ・ウェーブ  
沖縄の優位性を活用した e-sports 産業の確立事業
  - 有限会社サニー沖縄  
沖縄の強みを活かした県産及び国産成果の販売促進事業
- **地域産業連携支援事業**
  - 株式会社沖縄 TLO  
産学官連携推進ネットワーク形成事業
- **地域産業支援事業**
  - 一般財団法人沖縄マリネジャーセイフティービューロー  
情報の可視化による高付加価値サービスの標準化を目指す事業
  - 公益財団法人沖縄県産業振興公社  
沖縄におけるベンチャーファンドのあり方に関する調査事業
- **人材育成事業**
  - 公益社団法人沖縄県情報産業協会  
即戦力 IT 人材育成事業
- **北部地域産業振興事業**
  - 一般社団法人羽地ネットワーク  
羽地コミュニティ・ビジネス事業
  - 国頭村  
国頭村シェアリングエコノミー観光振興事業
  - 株式会社沖坤  
泡盛蒸留粕を用いた環境にやさしい固化体製品の開発とその応用
  - 株式会社伊江島物産センター  
伊江島とその特産品のブランド力向上事業
  - 株式会社未来ぎのぞ  
規格外果物等料理体験事業
  - 株式会社セレディピティ  
フクギに宿る精霊に祝福されるウェディング事業開発

## 令和 2 年度

- **戦略的産業育成支援事業**
  - 株式会社あしびかんばにー  
沖縄観光コンテンツ開発環境整備事業  
～沖縄型新ライブ・エンタテインメント・コンテンツ創出～

- 株式会社ザ・ウェーブ 他 2 社  
沖縄の優位性を活用した e-sports 産業の確立事業
- **地域産業連携支援事業**
  - 株式会社沖縄 TLO  
産学官連携推進ネットワーク形成事業
- **地域産業支援事業**
  - 一般財団法人沖縄マリネジャーセイフティービューロー  
情報の可視化による高付加価値サービスの標準化を目指す事業
- **北部地域産業振興事業**
  - 一般社団法人羽地ネットワーク  
羽地コミュニティ・ビジネス事業
  - 株式会社沖坤  
泡盛蒸留粕を用いた環境にやさしい固化体製品の開発とその応用
  - 株式会社伊江島物産センター  
伊江島とその特産品のブランド力向上事業
  - 株式会社ぎのぞ  
規格外果物等料理体験事業

## 令和 3 年度

- **戦略的産業育成支援事業**
  - 株式会社沖縄県物産公社  
沖縄オンライン物産展構築事業 (ニューノーマル時代に対応したビジネス展開)
- **地域産業連携支援事業**
  - 株式会社沖縄 TLO  
産学官連携推進ネットワーク形成事業
- **地域産業支援事業**
  - 公益財団法人沖縄県産業振興公社  
SDGs ビジネス支援事業
  - 沖縄県酒造組合  
泡盛のブランドイメージ向上を目指した古酒化に関する調査研究事業
- **北部地域産業振興事業**
  - 株式会社伊江島物産センター  
伊江島とその特産品のブランド力向上事業
  - 株式会社沖坤  
泡盛蒸留粕を用いた用途分野に応じた固化体製品の開発
  - 合同会社 OKINAWA BIO SHIITAKE  
自社・商品ブランド力の強化と売上の拡大

## 令和 4 年度

- **戦略的産業育成支援事業**
  - 株式会社沖縄県物産公社  
沖縄オンライン物産展促進チャンネル多様化事業 (ニューノーマル時代に対応したビジネス展開)
- **地域産業連携支援事業**
  - 株式会社沖縄 TLO  
産学官連携推進ネットワーク形成事業
- **地域産業支援事業**
  - ゆいまーる沖縄株式会社  
世界に誇る沖縄の伝統染織物の継承と発展の仕組み構築事業
- **北部地域産業振興事業**
  - 株式会社伊江島物産センター  
伊江島とその特産品のブランド力向上事業
  - 株式会社わんさか  
「つながる地方物産展」を核とした外部販売拡大事業

## 令和 5 年度

- **地域産業連携支援事業**
  - 株式会社沖縄 TLO  
産学官連携推進ネットワーク形成事業
- **地域産業支援事業**
  - 沖縄都市モノレール株式会社  
ゆいレールマルシェ事業
- **人材育成事業**
  - 那覇商工会議所  
沖縄県の観光回復に向けた外国語人材育成事業
- **北部地域産業振興事業**
  - 株式会社わんさか  
つながりを稼ぐ力に！ファンコミュニティ育成事業
  - 農業生産法人株式会社命豚ふあーむ  
国頭村の特産品となる商品のブラッシュアップと販路拡大
  - 株式会社沖坤  
生コンスラッグの再生資源化と活用用途の製品開発事業



◆事業者・団体名は、採択当時のものです。

【申請に関するお問い合わせ】



沖縄県

商工労働部 産業政策課  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟8階  
TEL: (098) 866-2330

【事業計画に関するご相談】



公益財団法人  
沖縄県産業振興公社  
Okinawa Industry Promotion Public Corporation

〒901-0152 沖縄県那覇市字小祿1831-1 沖縄産業支援センター4階  
TEL: (098) 851-4103  
E-mail: kikin@okinawa-ric.or.jp  
URL: https://okinawa-ric.jp/

2024年9月